

第3回 久慈川桜並木活用懇談会 開催報告

令和3年9月28日(水)道の駅はなわを起点とした、久慈川桜並木の活用について、地域の活動団体、各行政区長が集まり、懇談会を開催しました。

◆ 懇談会について

- これまで2回の懇談会では、久慈川サイクリングロードの一周化に向けた取り組みの中で、利用目的や維持管理を含めた実行可能な案について、施設の候補地、利用対象者、各団体ができる事、行政に頼みたい事などの意見を出し合い、意見が多数な優先案の絞り込みを行いました。
- 今回は、過去2回の懇談会から絞り込まれた優先案を具体的な計画へと進めて行くため、場所の詳細な位置や規模、配置数を決めるための意見交換を行いました。

◆ ワークショップ

テーマ【具体的な計画の決定】

最優先案

・サイクリングロードの整備(堤防舗装)・・・県

堤防強化対策として堤防を舗装する。また、のり面には防草シートを敷設する。

優先案

・カヌー発着所の設置・・・県

カヌー教室が行われている箇所に、ステップ幅が広い階段護岸工を設置して、カヌーに乗り降りし易いようにする。また、流灯大会などでも活用する。

・堤防に上がる階段の整備・・・県

- ・既存の劣化した木製階段をコンクリート階段に改修する。
- ・ベビーカー、車いす等の利用者を踏まえ、可能な場所はアスファルト舗装でスロープにする。
- ・自転車も利用できるようコンクリート階段の両サイドをスロープとする。

・流木、土砂の撤去・・・県

- 河川内に流木、土砂が堆積して川幅が狭く、どんどん溜まり易くなっているため、撤去して台風などによる豪雨時の安全な流下に備えるとともに景観を良くする。
- ・埋もれている既存護岸まで堆積土砂を撤去し、従前の河川の流下能力を回復させる。
 - ・河川敷(高水敷)を平らに整備し、草刈りなどの維持管理をし易くする。
 - ・合流点付近の堆積土砂は、親水性を確保するため、できる限り緩勾配で撤去する。
 - ・土砂が溜まり易い所は、河川敷の堆積土砂を撤去し、川幅を広くする。

・防犯灯・・・町

堤防に上がる階段の上下に、足元を照らす地上型のソーラーライトを設置し、防犯や利用者の安全を確保する。

・サイクリングロード沿いのツツジの撤去・・・町と地元

利用者の通行の支障になっていること、草刈りなどの障害となっていること、開放感がなく防犯上良くないことなど、これらを解消するため、堤防沿いにあるツツジは伐採し撤去する。

計画図は裏面を参照

今後、要望する案

- ・臨時駐車場、遊歩道、休憩施設、花壇、河床路や沈下橋、展望台
街灯、桜のライトアップ、サイクルステーション、手足の洗い場

今回のワークショップ内で最優先案、優先案に含まれなかった要望案については、河川敷という土地条件のため河川法の占用許可が必要になる事、台風などによる洪水後に土砂が溜まり維持管理に手間が掛かる事などの課題がある。今後も「地域づくり」に継続して取り組み、これらの課題を解決し、実現可能になった段階で要望し整備して行くことで、更なる地域活性化を目指して行きたい。



参加者

- ・天領の郷はなわ・はなわ代官にぎわい座
- ・埴町観光協会・はなわスポーツクラブ
- ・久慈川菜の花の会
- ・埴二区、三区、四区、上石井区、台宿一区

今後の進捗状況はHPにてお知らせします。



コロナ対策実施



【問い合わせ先】

埴町 農林推進課
TEL:0247-43-2118 FAX:0247-43-2137
福島県南建設事務所 企画調査課
TEL:0248-23-1617 FAX:0248-23-1642

地域づくりの方針

久慈川桜並木や道の駅、自転車道等の地域資源を活用し、これらを連携、ネットワーク化することで、交流人口の拡大や健康で生き生きと暮らせる地域づくりを目指す。

課題

久慈川をはじめ豊かな自然と懐かしい原風景が体感できるものの歩道や親水施設が未整備でこれらの資源が活かされていない。また、右岸には矢祭棚倉自転車道線が整備されているが道の駅とのアクセス道路が未整備であり、両施設の連携が課題である。

計画図

